



Barryvox® S2

クイックガイド

SWISS DESIGN SINCE 1862

お問い合わせ先:

スイス (本社)
Mammut Sports Group AG
Birren 5, CH-5703 Seon
+41 (0)62 769 81 81
info@mammut.com

ヨーロッパ
Mammut Sports Group GmbH
Mammut Basecamp 1
DE-87787 Wolfertschwendon
+49 (0)8334 3620 0
germany@mammut.com

Japan (日本)
Mammut Sports Group Japan Inc.
Daikwa jingumae BLDG 4F
Jingumae 2-4-11, Shibuya-ku
Tokyo, 150-0001
+81-(0)3-5413-8597
info@mammut.jp

詳細情報:

Barryvox®アプリケーション
Barryvox® S2デバイス設定、ファームウェアアップデート、Barryvox® Training Park、延長保証サービス

Barryvox.com
雪崩コース、マニュアル、装備サポート、延長保証サービス

1. はじめに

Barryvox® S2をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本ユーザーマニュアルでは雪崩トランシーバーの基本的な操作・使用方法をご紹介します。

Barryvox®雪崩トランシーバーは、雪崩が発生し得る地形でスポーツを楽しむ際など、雪山特有の危険を伴う場所に適したデバイスです。こうした地形での負傷や死亡事故に至るようなケースの発生リスクを軽減するためには、十分な知識や経験が不可欠です。雪崩が発生しやすい地形へ立ち入る際は、経験者を同伴するか、十分なトレーニングと経験を積んでから臨んでください。常に注意を払い、合理的な判断・行動を行い、発生し得る危険を認識するようにしてください。雪崩が発生し得る地形へは決して単独で立ち入らないでください。実際に雪崩が発生し得る雪山で雪崩トランシーバーを使用する前に、「必ず」本ユーザーガイドを読み、内容をしっかりと理解してください。不適切な使用は、雪に埋もれた対象の捜索や、本デバイスの機能性および安全性を著しく害する場合があります。雪崩トランシーバーは、常に体にしっかりと固定・装着してください。

緊急時には、雪崩認識に関する十分な理論理解と実践、および定期的な訓練が極めて重要となります。計画をしっかりと立て、雪崩が発生し得る地形を訪れる際には雪山での必須4点装備（雪崩トランシーバー、シャベル、プローブ・ゾンデ棒、雪崩バックパック）を必ず装備するようにしてください。

2. 初期設定

2.1. 安全ベルトを締め、電池を挿入する

- 安全ベルトをデバイス上のアイトレに装着します。
- 電池コンパートメントを開け、付属のアルカリ乾電池を挿入し、蓋を閉めます。蓋が適切な位置に収まるとカチッと音がします。

2.2. Barryvox®アプリケーションをダウンロードする

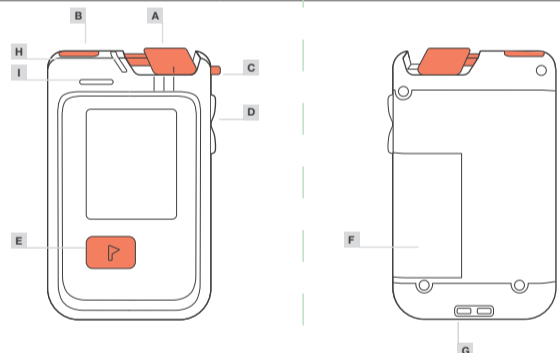
- インストール:** ファームウェアアップデート
- 設定・準備:** デバイス設定
- トレーニング:** Barryvox® Training Park
- メリット:** 延長保証サービス

2.3. アプリインストール後、Bluetooth®経由でBarryvox®を接続する

- お使いのスマートフォンのBluetooth®機能をオンにし、Barryvox®アプリケーションを開いたら、「デバイスを追加」を選択します。
- Barryvox®のメインスイッチをOFFからSENDへスライドします。電源をオンにした後、Bluetoothは90秒間有効です。
- Barryvox®とスマートフォンのBluetooth接続が確立されます。
- スマートフォンで「接続」を確認・確定します。
- すべての変更が完了したら、アプリケーション内で接続を解除します。その後Barryvox®は3回の警告音を鳴らし、SENDモードになっていることをお知らせします。

雪山での行動中はBluetooth®接続を使用しないでください。Barryvox®がスマートフォンに接続されている場合、デバイスは信号を発信しません。

ガイダンス



A メインスイッチ OFF / SEND / SEARCH	OFFの位置: デバイスの電源がオフ SENDの位置: デバイスがSENDモード SEARCHの位置: デバイスがSEARCHモード
B 解除ボタン	メインスイッチをSENDから切り替える際には解除ボタンを長押ししてください。SENDモードに設定する際には、解除ボタンの操作は必要ありません
C SEARCHからSENDへの切り替えサポ	SEARCHモードからSENDモードへ切り替えます
D サイドボタン	リスト内をブラウズする際に使用します
E マークボタン	選択を確定します SEARCHモードでは、雪に埋もれた対象を特定した位置をマークします
F 電池コンパートメント	
G 安全ベルト用アイトレ	
H SENDインジケータライト	毎秒点滅: 伝送信号OK 点滅なし: 伝送信号に異常 (ディスプレイで警告内容を確認してください) Rescue-SENDモードでは3秒ごとに2回点滅
I 大音量スピーカー	

ユーザーインターフェイス

SEND

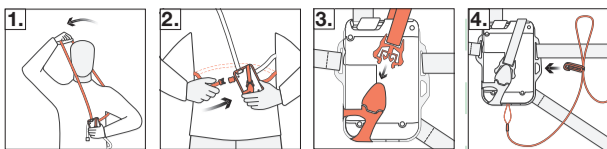
- 電源をオンにした後の数秒間:
 - 設定
 - グループチェック
 - 設定内ではBarryvox®は伝送信号を発信しません。
- Bluetoothシンボル (電源をオンにした後90秒間点滅し、この時間内でスマートフォンとの接続が確立されます)
- 埋没データ
- バッテリー状態
- SENDモード
- セルフテスト確定
- グループメンバー
- リーダー
- ステータス情報またはリーダーへのメモ
- マークボタンを押してグループチェックを終了し、SENDモードへ移行してください

SEARCH

- 捜索方向
- 信号検索
- 選択された埋没者
- 検知された信号への距離
- 埋没者の人数
- 捜索スピードと位置

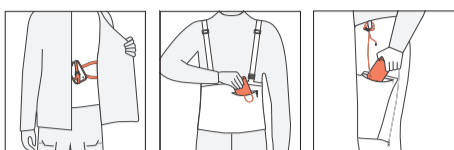
3. 出発前・行動中

3.1. キャリングシステムに装着する



1. キャリングシステムの黒色のストラップに頭と左腕を通します。
2. 伸縮性のあるグレー色のバンドをウエストに回し、クイックリリースファスナーを閉めます。ストラップの長さを調整し、キャリングシステムが身体に沿ってしっかりと固定されるようにします。
3. Barryvox®をホルダーに挿入します。この時、ディスプレイがキャリングシステム (身体側) に面するようにしてください。その後は、Barryvox®包み込むようにしてクイックリリースファスナーを閉めます。
4. 安全ベルトのカラビナをキャリングシステムに装着します。

警告



キャリングシステム (使用推奨) に装着したBarryvox®は、着衣の一番下に身に付けるベースレイヤー (肌着など) の上に着用し、その上から最低でも1レイヤー重ね着してください。

キャリングシステムを使用せずにBarryvox®を持ち運ぶ場合は、ズボンのジッパー付きフロントポケットやビブポケットに入れ、安全ベルトをズボンに取り付け、ズボンのベルトに通してください。

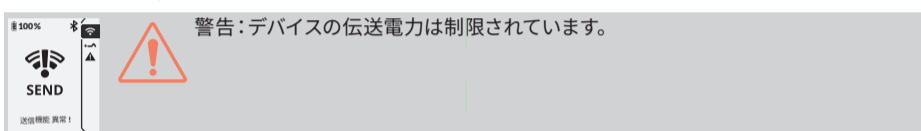
Barryvox®のディスプレイは、常に身体に面するようにしてください。

3.2. 干渉・妨害源との距離を確認する

雪崩トランシーバーの信号は、金属や電子機器などによる悪影響を受ける場合があります。これらには、スマートフォン、ラジオ、ヘッドランプ、スポーツウォッチ、アクションカメラ、ヒートグローブ (電熱グローブ)、ペースメーカー、マグネット式ボタンなどが含まれます。お使いの雪崩トランシーバーと金属や電子機器などの距離が、最低でも以下で示す程度離れているかどうかを確認してください。

- SENDモード: 20 cm
- SEARCHモード: 50 cm、電子機器の電源はオフ

Barryvox®は電源がオンになった瞬間からセルフテストを実行します。このテストにはバッテリー状態や一般機能の確認が含まれます。Barryvox®の指示に従い、ディスプレイに警告が表示されている場合は出発しないでください。



4. SEARCHモード

緊急時、雪に埋もれた対象の捜索を成功させるためには正確なトレーニングを定期的の実施する必要があります。捜索・救助手順やモバイル版Barryvox® Training Parkに関する情報、お住まいの地域で実施されている雪崩コースに関する詳細は、Barryvox.comまたはBarryvox®アプリでご確認いただけます。

雪崩トランシーバーを用いた捜索に携わっていますか?または責任者・担当者ですか?

はい

いいえ、他のメンバーが担当しています。私は雪面確認やプローブを使用した作業、雪かき作業、救助・救急処置の要請を担当しています。

Barryvox®をSEARCHモードに設定します。

Barryvox®をRescue-SENDモードに設定します。この操作を行うためには、メインスイッチをSEARCHからSENDへ切り替え、マークボタンを押してください。

Rescue-SENDモードは、一時的にあなたの信号を抑制することで救助作業中の信号障害を防ぎます。Barryvox®があなたの動きを最低4分間検知できない場合、二次的な雪崩に巻き込まれたと推測して再度自動的に信号を送信します。

4.1. 捜索手順

信号捜索

- 視覚および聴覚を駆使して雪崩後の雪面を捜索します。この際、2回連続して鳴る警告音が明確に聞こえるまで、迅速かつ体系的にジグザグ歩行を行います。
- Barryvox®を耳に当て、視覚的なサインを探すために雪面に注意して目を向けながら移動します。

コース捜索

- 最初の警告音が聞こえたら、矢印が示す方向へ素早く移動します。
- 腕を伸ばし、Barryvox®を水平にして目の前で持ちます。
- 距離が10以下となったら、捜索速度を落とします。

精密捜索

- 歩行速度で矢印が示す方向へ移動します。
- Barryvox®を真正面かつ膝の高さで持ちます。この時デバイスの向きを変えないようにしてください。
- Barryvox®の指示に従い、縦横に移動しながら、対象への最短距離に達してプローブによる作業開始指示が表示されるまで捜索を行います。
- 対象の場所をマークします。

ピンポイント捜索

- プローブを用い、マークした場所から体系的に円を描くようにして捜索を行います。
- プローブによって埋没者の場所を特定した場合は、その場所にプローブを差したままの状態にします。

埋没者をマークする

- プローブを使用して埋没者を見つけたら、直ちにマークボタンを押してその場所をマークします。マーク作業は、埋没者を見つけた瞬間にのみ行ってください。

埋没者の救出

- 効率的な掘り起こし方法に関するアドバイスや役立つ情報は、Barryvox.comまたはBarryvox®アプリをご確認ください。

4.2. 複数の埋没者の捜索手順

埋没者が複数名いる場合は捜索を続行します。Barryvox®ですべての埋没者を記録・追跡してください。サイドバーに表示されたフラグ記号は、埋没者が検知・マークされていることを意味します。

4.3. SEARCHモードからSENDモードへの自動切り替え

捜索中に捜索者・救助者が二次的な雪崩に巻き込まれた場合など、ユーザーによる操作や動きを最低4分間検知できない場合、Barryvox®は自動的にSENDモードへと切り替えます。

5. サービスとメンテナンス

5.1. 点検

- 出発前と出発後
- 本体に損傷がなく、ディスプレイの視認性が高い。
 - すべてのスイッチやボタンが適切に機能している。
 - 電池コンパートメントは濡れておらず、腐食が一切ない。
 - 出発前にBarryvox®のバッテリー状態を確認する。アルカリ乾電池の場合は最低でも40%、リチウム乾電池の場合は最低でも30%の残量がある。

シーズン前

- 電池交換が必要かどうかを確認し、同タイプの新しいアルカリ乾電池 (LR03/AAA、単4) またはリチウム乾電池 (L92/AAA、単4) のみを使用する。充電式の電池は決して使用しないでください。電池を新しいものと交換する場合は、常にすべてを同時に交換する。
- ファームウェアのアップデートが可能であることを確認する。

シーズン後

- 長期間の保管中に電池の液漏れを防ぐために、電池をデバイスから取り出す。
- メーカーによる正式なデバイス点検を定期的に行う。Barryvox®の電源をオフにする際、次のメンテナンス時期が表示されます。

5.2. 安全に関する情報

以下の安全に関する注意事項に留意し、ご購入・ご不明店がある場合はお気軽にご連絡ください。Barryvox®は細心の注意と安全性に関するすべての要因に配慮して設計されていますが、以下の危険性が存在します。

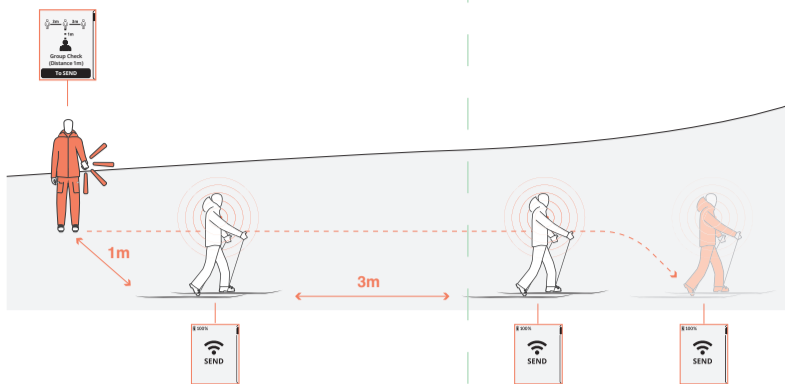
- 不適切なデバイス装着に伴うデバイス紛失の危険性: Barryvox®を専用のキャリングシステムに装着するか、口がきちんと閉まるバッグなどに入れて安全ベルトで固定してください。
- 不適切な電池の使用や破損した電池の使用に伴うデバイス破損の危険性、および不適切な電池の使用に伴う不十分なディスプレイ表示の危険性: アルカリ乾電池 (LR03/AAA、単4) 1.5Vまたはリチウム乾電池 (L92/AAA、単4) 1.5Vのみを使用してください。破損した電池は使用しないでください。
- 液漏れした電池の使用に伴う故障または損傷の危険性: 長期間デバイスを使用しない場合は、電池をデ

3.3. SENDモードに設定する

雪崩が発生する可能性のある場所では、常にBarryvox®をSENDモードに設定してください。バッテリーを節約するため、ディスプレイはデバイスの操作が行われない場合30秒後にオフになります。いずれかのボタンを押すとディスプレイは再びオンになります。

3.4. グループチェックを実施する

出発する前に、グループリーダーはグループメンバーが持つすべての雪崩レシーバーをチェックしてください。Barryvox®は適切な伝送機能と信号強度のテストを実行します。



1. すべてのグループメンバーの雪崩トランシーバーをSENDモードに設定します。
2. リーダーはBarryvox®をOFFからSENDモードに変更し、最初の5秒間マークボタンを長押ししてグループチェックを開始します。
3. グループメンバーはそれぞれお互いの信号を阻害しないように最低でも3m離れてください。
4. リーダーはすべての雪崩トランシーバーの信号をそれぞれ1m離れた距離からひとつずつ確認してください。この時、距離が0.5m以下にならないように気を付けてください。

リーダーはメンバーの雪崩トランシーバーとのテスト距離間で、自身のBarryvox®が2回連続して警告音を鳴らしていることをトランシーバー毎に最低1度確認し、さらにディスプレイが「グループチェックOK」と表示されていることを確認してください。

表示されたテスト距離間でデバイスの音が聞こえない場合や警告が表示されている場合は、テスト済みデバイスを使用しないでください。

異常が確認された場合は、以下を確認してください。

- 雪崩トランシーバーはSENDモードに設定されていますか?
- バッテリー状態に問題はありますか?
- テスト距離のルールは確認しましたか?

警告がまだ表示されている場合は、メーカーにデバイスの検査を問い合わせてください。

5. リーダーはマークボタンを押してグループチェックを終了し、SENDモードへと切り替えてください。3回連続して警告音が聞こえたら、設定が完了しています。

5.3. 技術仕様

デバイス: アナログ機能と3本アンテナを装備したデジタルデバイス
伝送周波数: 雪崩トランシーバー: 457 kHz (国際標準)
伝送電界強度/伝送強度: 雪崩トランシーバー: 10 mの距離で最大7 dBμA/m (2.23 μA/m)
電源: 2 x LR03 1.5 V アルカリ (AAA、単4)
アルカリ乾電池の寿命: SENDモードで約450時間、SENDモードで最低200時間の後にSEARCHモードで1時間
最大範囲: 最大70 m。
捜索量: 70 m
Bluetooth: v5.1, 2.4 GHz~2.4835 GHz、最大5 dBm
動作温度幅: -25°C~+45°C
寸法 (L x W x D): 115 x 68 x 21 mm
重さ: 180 g (電池を含む)

廃棄: 製品寿命時には、本製品は一般ごみとして廃棄できません。電子機器のリサイクル専門施設でリサイクルしてください。